

(情シ 52)

令和 3 年 2 月 5 日

都道府県医師会 情報システム担当理事 殿

日本医師会 常任理事
長 島 公 之
(公印省略)

次世代医療基盤法に関するシンポジウムの開催について

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より会務運営に対しましてご高配を賜り深く感謝申し上げます。

さて今般、内閣府日本医療研究開発機構・医療情報基盤担当室参事官より、本会に対して標記に関する協力依頼がありました。

「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律」、いわゆる「次世代医療基盤法」(平成 29 年法律第 28 号。)では、契約した医療機関等から、丁寧なオプトアウト手法により収集した医療等の情報を連結(名寄せ)して蓄積し、利活用者のニーズに合わせて匿名加工医療情報を生成して、有償で提供する事業を行う「認定匿名加工医療情報作成事業者」(以下、「認定事業者」という。)を国が認定する制度が定められております。その詳細は、平成 30 年 6 月 11 日付日医発第 261 号(情シ 8)「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律等の施行について」にてお示しした通りです。

日本医師会といたしましても、平成 31 年 3 月、「一般財団法人 日本医師会医療情報管理機構」を設立、同機構が認定事業者となるべく令和元年 10 月より申請手続きを開始し、令和 2 年 6 月、認定を受けることができました。現在、今春より本格的な活動を展開していくべく準備中であり、今後改めてご報告いたします。

さて、次世代医療基盤法の所管官庁のひとつである内閣府では、「成長戦略フォローアップ」(令和 2 年 7 月 17 日閣議決定)を踏まえ、国民・患者向けポスター、広報動画、医療機関向けや自治体向けの研修教材等の作成・展開を通じて普及啓発を図っており、今回、その一環として、医療機関関係者等を対象に、同法への理解を深めていただくためのシンポジウムが開催されることとなりました。

同シンポジウムは、コロナ禍の状況を踏まえ、下記の通り、2月27日（土）にオンライン開催される予定となっております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただくとともに、貴会会員への周知方ご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、シンポジウム開催に先駆け、全国の200床以上の病院に対して、主催者側より開催案内を直接発送するとのことですので申し添えます（発送元は、内閣府が事業を委託しているテレビ朝日映像株式会社で、2月12日頃発送予定とのことです）。

記

【タイトル】次世代医療基盤法シンポジウム（医療機関等向け）
「医療ビッグデータが生み出す“明日の健康・医療”」
～次世代医療基盤法が目指す世界と医療現場にとっての意義～

【主催】内閣府 日本医療研究開発機構・医療情報基盤担当室

【対象】医療機関等

【日時】令和3年2月27日（土）15:00～17:00 オンライン開催

【定員】400名程度（要・事前申込）

【内閣府 Web サイト（参加申込はこちらから）】

<https://www8.cao.go.jp/iryuu/kouhou/kouhou/210227.html>

以上

公益社団法人 日本医師会 情報システム担当理事 殿

内閣府日本医療研究開発機構・医療情報基盤担当室参事官
(公 印 省 略)

次世代医療基盤法に関するシンポジウムの開催について（依頼）

新型コロナウイルス感染症に対する多大なるご尽力に心から感謝申し上げます。

成長戦略フォローアップ（令和 2 年 7 月 17 日）では、「健康・医療戦略」（令和 2 年 3 月 27 日閣議決定）を踏まえ、次世代医療基盤法の下、広報・啓発による国民の理解増進と幅広い主体による医療分野の研究開発への匿名加工医療情報の利活用を推進することとしております。上記を踏まえ、内閣府では、国民・患者向けポスター、広報動画、医療機関向けや自治体向けの研修教材等の作成・展開を通じて、普及啓発を図っていく予定です。

今後、この制度に基づき一人ひとりの医療情報が利活用され、より良い医療が提供されることにつながるためには、医療機関をはじめとする皆様方の協力が重要です。このことを踏まえ、当室では、医療機関をはじめとする皆様方を対象に、次世代医療基盤法への理解を深めていただけるよう、下記の通りシンポジウムを開催することといたしました。

追って全国の 200 床以上の医療機関に対しては、開催案内をお送りさせていただく予定です。

つきましては、貴会におかれましても、各都道府県医師会へのご周知の程、よろしく願いいたします。

記

タ イ ト ル：次世代医療基盤法シンポジウム（医療機関等向け）

「医療ビッグデータが生み出す“明日の健康・医療”」

～次世代医療基盤法が目指す世界と医療現場にとっての意義～

日 時：令和 3 年 2 月 27 日（土）15:00～17:00

開 催 形 式：オンライン開催

参 加 方 法：以下ホームページから申し込まれた方限定（定員 400 名程度）

ホームページ：<https://www8.cao.go.jp/iryuu/kouhou/kouhou/210227.html>

以上

【宛先印字領域】

※原稿は印刷されません



次世代医療基盤法

次世代医療基盤法シンポジウム(医療機関等向け)

「医療ビッグデータが生み出す“明日の健康・医療”」

～次世代医療基盤法が目指す世界と医療現場にとっての意義～

医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律(略称「次世代医療基盤法」)が2018年5月に施行され、2019年12月及び2020年6月には同法に基づく事業者が認定されることにより、匿名加工医療情報の利活用に向けた具体的な動きが始まっています。

今後、この制度に基づき、一人ひとりの医療情報をこれからのより良い医療が提供されることにつなげるためには、今、医療機関をはじめとする皆様方のご協力が必要です。そこで、内閣府では、医療機関をはじめとする皆様方に次世代医療基盤法への理解を深めていただけるよう、オンラインによるシンポジウムを開催することといたしました。

医療機関等向け 「次世代医療基盤法シンポジウム」 オンライン開催!

<https://www8.cao.go.jp/iryuu/kouhou/kouhou/210227.html>

開催概要 / オンライン開催

開催日時 / 2021年2月27日(土)

15:00～17:00

参加費 / 無料 ※事前登録制

申込方法 / URLより参加登録

主催 / 内閣府 日本医療研究開発機構・
医療情報基盤担当室

業務請負先/テレビ朝日映像株式会社

お問い合わせ先/<https://jisedaiiryoo.jp/toiawase/>
(こちらのお問い合わせフォームよりご連絡ください。)



シンポジウム タイムスケジュール

時間	概要	登壇者
15:00-15:15	開会挨拶 次世代医療基盤法の概要説明	内閣府 医療情報基盤担当室 参事官 田中 謙一
15:15-15:35	講演①:「次世代医療基盤法」 最前線レポート	一般社団法人 ライフデータニシアティブ 代表理事 吉原 博幸氏
15:35-15:55	講演②:「次世代医療基盤法」 最前線レポート	ICI 株式会社 代表取締役社長 工藤 憲一氏
15:55-16:50	パネルディスカッション 「次世代医療基盤法」をより 活用していくために必要なことを、 各ポジションの有識者同士で ディスカッションしていただきます。	パネリスト 1. 公益社団法人 日本医師会 常任理事 長島 公之氏 2. 一般社団法人 日本医療情報学会 理事長 中島 直樹氏 3. 一般社団法人 ライフデータニシアティブ 代表理事 吉原 博幸氏 4. ICI 株式会社 代表取締役社長 工藤 憲一氏 5. 内閣府 日本医療研究開発機構・医療情報基盤担当室 参事官 田中 謙一 モデレーター 一般社団法人 医療データ活用基盤整備機構 理事長 岡田 美保子氏
16:50-17:00	閉会挨拶	内閣府 医療情報基盤担当室

出演者プロフィール



吉原 博幸

講演①/パネルディスカッションパネリスト

1995年宮崎医科大学教授。その後、熊本大学、京都大学教授。2013年京都大学退任後、京都大学EHR共同研究講座を主宰。2015年より千年カルテプロジェクト開始。2019年より次世代医療基盤法認定事業者(LDI)代表理事。



長島 公之

パネルディスカッションパネリスト

公益社団法人 日本医師会常任理事
1992年、栃木県下都賀郡壬生町に長島整形外科を開業。下都賀郡市医師会理事、栃木県医師会理事を歴任し、2018年より現職。日本医師会では、情報、会員情報(電子認証センター)の他、医療政策、救急災害医療などを担当。



工藤 憲一

講演②/パネルディスカッションパネリスト

ICI 株式会社 代表取締役社長
1997年東京大学理学部地球惑星物理学科卒業。1997年～2015年野村総合研究所。2015年～弘前大学研究戦略アドバイザー。2019年～日本医師会医療情報管理機構匿名加工・解析責任者。2020年ICI代表取締役社長。



中島 直樹

パネルディスカッションパネリスト

1987年九州大学医学部卒。2014年より九州大学病院メディカル・インフォメーション教授/センター長、国際診療支援センター長兼任。2019年より日本医療情報学会理事長。2021年よりアジア太平洋医療情報学会理事長、国際医療情報学会副理事長、糖尿病専門医。



岡田 美保子

パネルディスカッションモデレーター

一般社団法人医療データ活用基盤整備機構 理事長。計算機科学修士、医学博士。新潟大学教養部・統計学助教授、川崎医療福祉大・医療情報学科教授などを経て2018年5月より現職。専門は医療情報学。2013～2016年の間、日本医療情報学会理事長。医療情報の国際標準化分野で活動。



田中 謙一

説明者・パネルディスカッションパネリスト

内閣府日本医療研究開発機構・医療情報基盤担当室・参事官
1994年4月に旧厚生省(現厚生労働省)に入省。その後、外務省在ドイツ日本国大使館一等書記官(厚生担当)、社会保険診療報酬支払基金本部経営企画部長、桑名市副市長(特命)等を歴任し、2018年7月より現職。